

観世九臯会

かんぜきゅうこうかい



十一月 定例会

Noh Kyogen
KANZE KYUKOHKAI
13 November.2022(sun)
Yarai Noh Stage

令和4年11月13日(日)
於 矢来能楽堂

【第1部】12:30開演(12:00開場)
14:10終演予定

—客席入れ替え—

【第2部】15:30開演(15:00開場)
17:00終演予定

※第2部のみ前年と開演時間が変更となります。ご注意ください。

主催：公益社団法人 観世九臯会



感染予防にご協力をお願いいたします。

◆ ご来場の際のお願い

- ・体調不良の方は、当日でもご来場をお控え下さい。
- ・ご入場の際は必ずマスクをご着用ください。
- ・入口にて手指のアルコール消毒と検温にご協力下さい。
- ・37.5℃以上の発熱がある方は入場をお断りさせていただきます。
(上記にご協力いただけない方には、ご入場をお断りいたします。)
- ・上記にて入場不可となった方へは、ご事情を伺った上で、払い戻しをさせていただきます。チケットを半券ともにご保管の上、ご連絡下さい。

◆ 会場内でのお願いなど

- ・喫茶室は閉室しております。場内でのお食事はご遠慮下さい。
- ・場内のウォーターサーバーは、使用停止とさせていただきます。
- ・水分補給のためのお飲み物は、ご持参ください。
- ・換気のため、お席によっては空調が強くとつたところがございます。
ご自身にて上掛け等をご持参ください。
- ・出演者へのご面会、お差し入れは当面の間、ご遠慮ください。

・矢来能楽堂のお手洗いは数が大変に限られております。なるべくご来場前にお済ませ頂き、ご利用の際は間隔をあけてお並びください。

◆ 上演にあたってなど

- ・上演中も、マスクの着用をお願いいたします。
- ・舞台上も出演者の感染予防対策を講じた形式での上演とさせていただきます。
- ・公演の前後および休憩中には外気を入れ、会場内の換気をいたします。
- ・場内換気のため、上演中もロビーとの扉は開けさせていただきます。
- ・1部、2部とも続けてご覧になる方も、一旦退館をお願いいたします。
- ・万一、来館者ならびに出演者・スタッフに感染が疑われる者が後日、発生した際は、所轄の保健所へご来場者様情報を提出させていただく場合がございます。

このほか、矢来能楽堂ホームページにて、「矢来能楽堂における感染予防措置」をご確認の上ご来場ください。
皆様の健康と安全を第一に考えて実施いたしております。
ご不便をおかけすることもございますが、何卒ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

矢来能楽堂・公益社団法人 観世九臯会

全指定席(各部)

正面席 5,500円 / 脇正面・中正面席 4,400円

学生券(脇正面・中正面) 2,200円 ※学生券は26歳未満(要学生証) 未就学児入場不可

1部2部通しセット(脇正面・中正面のみ) 7,800円

矢来能楽堂のみ取扱い

〔注意事項〕

- ・記載の演目・演者等はやむを得ない都合により変更になる場合がございます。
- ・許可のない録音・撮影は一切禁止です。
- ・携帯電話は電源からお切りください。
- ・演能やほかのお客様の迷惑となる行為はご遠慮願います。
場合によっては退場していただく場合がございます。

新型コロナウイルスの感染状況や行政機関などによる指示、各種ガイドラインの変更・更新等に伴い、内容に変更がでる場合がございます。最新情報は矢来能楽堂ホームページや公式ツイッターなどでも随時お知らせいたしますので、ご来館時などには必ずご確認くださいませよう願いたします。



162-0805 東京都新宿区矢来町60

【お申込み・お問合せ】

矢来能楽堂・観世九臯会

電話：03-3268-7311 FAX：03-5261-2980

メール：yarai@eos.ocn.ne.jp

http://yarai-nohgakudo.com/



カンフェティチケットセンター
(WEB予約後セブンイレブンで発券)
電話：0120-240-540

表紙写真「瘦男」 撮影：青木信二

能楽書林

権藤芳一著
『能楽手帖』



簡潔な解説で携帯にも便利な能楽鑑賞事典。見聞き一曲で、上演頻度の高い一三〇曲を厳選して収録。曲ごとに、あらすじ・みどころ・作者・素材・各流の小書きなどが書かれ、観能の手引に最良の書。巻末に用語解説も付す。
新書判・三〇二頁
本体一四〇〇円十税

柳沢新治著

『横からみた能・狂言』

長年、NHKの能楽放送に携わった著者が著した、現場ならではの「放送うらばなし」をはじめ、能の歴史をひもとく「能の歴史」・心に残る人々との思い出の随想「出合いと別れ」、能をモチーフとした推理小説「能舞台の目撃者」など、バラエティに富んだ内容を一冊にまとめた好読物。
四六判・二二三頁
本体二〇〇〇円十税

ご注文・お問合せ

能楽書林 九段下駅徒歩すぐ
☎ 03-3266-1084
FAX 03-3266-1084
メール shoin@mercury.plala.or.jp

観世九臈会 十一月定例会

令和四年十一月十三日(日)

於 矢来能楽堂

【第一部】 十二時三十分開演(正午開場)

番組

狂言 清水

Shimizu

シテ 高澤祐介 アド 金田弘明

後見 大塚 出

—— 休憩十分 ——

(午後一時頃)

ツレ 奥川 恒成

シテ 中森健之介

能 放下僧

Houkuzou

ワキ 森 常好

大鼓 大倉正之助
小鼓 清水 和音

笛 熊本俊太郎

後見 遠藤 喜久
中森 貫太

地謡

深津 紘 鈴木 啓吾
桑田 貴志 遠藤 和久
小島 英明 中所 宜夫
永島 充 奥川 恒治

(終演予定 午後二時十分)

【第二部】 午後三時三十分開演(午後三時開場)

番組

和布刈

新井麻衣子

仕舞 定家

観世喜之

融

遠藤和久

地謡

河井美紀
鈴木 啓吾
弘田 裕一
佐久間 二郎

能 阿漕

Akagi

シテ 駒瀬 直也

ワキ 福王 和幸

大鼓 國川 純
小鼓 幸 信吾

太鼓 金春惣右衛門
藤田 朝太郎

間 三宅 近成

後見 永島 充
奥川 恒治

地謡

金子仁智翔 桑田 貴志
奥川 恒成 佐久間 二郎
新井麻衣子 坂 真太郎
光岡 良典 小島 英明

(終演予定 午後五時)

附祝言

《あらすじ》

狂言 清水

しみず

太郎冠者は主人に野中の清水で水を汲んでくるよう命令される。面倒に思った冠者は、途中で桶を捨てて怯えた体で帰り、清水で鬼に遭ったと嘘をつく。主人が清水へ桶を取りに行くと言うので、太郎冠者は先回りして鬼になります。

能 放下僧

ほうかぞう

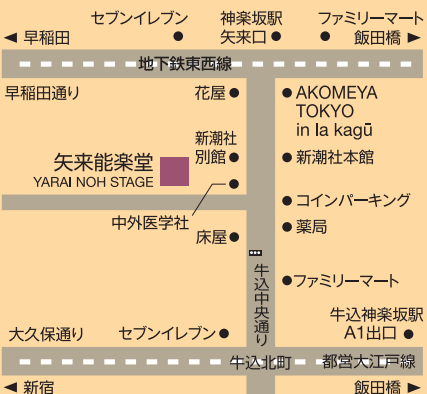
父を利根信俊に討たれた牧野小次郎は、僧である兄を説得し、ともに敵討ちを志す。怪しまれないよう放下という芸能者に変装し、信俊に接近する。禅問答を繰り返したり、歌や舞を披露して、とうとう油断した信俊を討ち果たす。

能 阿漕

あこぎ

禅問答の間に気が逸る小次郎を見が制するなど、緊張感のある場面が描かれる。クセ舞に鞆鼓、小歌といった芸尽くしも見どころ。

秋の頃、伊勢国の阿漕が浦を訪れた男は、漁師の老人と出会う。老人は、昔この所に阿漕という漁夫がおり、殺生を禁ずるこの浦で漁をしていたのが露見し、浦に沈められてしまったと語る。自らがその阿漕の霊だと明かし、また漁をしようとするが、突然の嵐に攫われて消える。男が弔う折節、阿漕の霊が現れる。網を使って漁をするが、浦の波は火炎となって、地獄の有様となる。阿漕の霊は助けを乞いながら、浦に沈んでいくのであった。



地下鉄東西線神楽坂駅 矢来口より徒歩2分
都営大江戸線牛込神楽坂 A1出口より徒歩5分
駐車場はございません。近隣のコイン駐車場をご利用ください。